

へ家も無きを怨嗟しがやゝありて
 閣龍「己みかん己みかん益あき探言我今世に遇そとも
 誠の識者出るあらば後世必ず遇ふあらん我肉身の人
 間お屈するとも誠の神天お在せば靈魂の天堂お昇る
 を得ん
 ハルトロマイ「我も阿兄の弟なれば尾お就きて其名を
 後ちよ
 ズイエゴ「我れも阿爺の兒おれば蹤を追ふて魂天お昇
 らん
 閣龍「昇りの留めつしたらんよ
 ハルトロマイ「遇はざるとても
 ズイエゴ「屈するとても

三人 何の恨むる所かあらん只眞の神の憐み玉のん
 事を願ふあれ
 既お巻初お掲げたる本傳中よあるが如く閣龍翁のこう世
 に大功業ありおがらこう終りを最不幸よ告げぬれど名わ
 徳と此の世のあらんかぎり滅すべうあく益顯著に成行
 ものから乃者北米人の言ふもさら西班牙國外務大臣并よ
 殖民大臣を始め其他世界各國の人々翁の爲にたる偉業
 翁より蒙ひれる遺徳を慕ふの餘り新世界發見に係る四百
 年祭を執行し且つ一大紀念碑と建設せまく計畫中ありと
 さてこそ翁も亦地下に眠するところいさまし明治二十一
 年如月の初め香夢の南窓よ香夢しるす時よ瓶梅の一二輪
 開きたる翁の名と其香を尋ふかと思われぬ

コロンブス亞米利加發見記終

明治廿六年四月十五日印刷
明治廿六年五月八日發行
定價八錢

發行者

伊藤倉三

日本橋區堺町八番地

印刷者

瀧川三代太郎

日本橋區新和泉町一番地



發兌

金盛堂

日本橋區堺町八番地



